

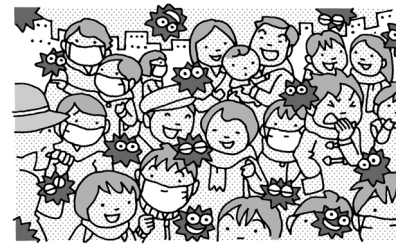
## コロナ感染急拡大！学年・学級閉鎖に！！

今年度は夏休み直前に学級閉鎖はありましたが、それ以外は校内でコロナの感染が広がるということはありませんでした。しかし、12月になって感染者や濃厚接触者が徐々に増え始め、先週から学級閉鎖や学年閉鎖の措置をとる事態になっています。これまで陽性になった人はほとんど家庭内の感染でしたが、現在は校内で感染しているのではないかと疑われる人が多くなっています。

そして、閉鎖している学年・学級以外も、心配なクラスがいくつもある状況です。朝、特に心配していなかったクラスに早退者が続き、早退した人の陽性がすぐにわかってその日のうちに閉鎖になったということもありました。どのクラスもいつ閉鎖になってもおかしくない状況だと言えます。

近隣の小学校は、本校より早く閉鎖などの対応を行っているようです。小学校からは「熱もなく咳が出ている子が何人もコロナ陽性と判定された」「腹痛の症状で早退した子が陽性になった」…

という情報もあり、「熱がないから大丈夫」と言えないようです。本人の症状が軽くコロナと気が付いていないまま周りに広がって学級閉鎖になったり、リスクのある家族にうつったりということが心配されます。



※学級閉鎖・学年閉鎖の判断は、学校からの報告・相談により教育委員会および保健所が感染拡大の可能性を考慮して行っているため、欠席者数が同じでも対応が異なる場合があります。

毎朝熱を測り、健康カードの項目をチェックして登校してください。「熱がないから大丈夫」という判断はせず、少しでも体調が悪ければ念のため学校は休んで様子を見てください。

そして、急に授業を切り上げて自宅に帰ることが考えられるので、保護者の方がご不在でも帰宅できるように、鍵の管理や、緊急連絡先などについてご家庭で確認をしておいてください。

また、現在学級閉鎖などの判断にどのような症状で欠席しているのかを把握する必要があります。

「体調不良」「予防」だけでなく、「発熱の有無と熱がある場合は何度くらいの熱か」「喉の痛み・頭痛等の症状はあるのか」等詳しい症状をオンラインで連絡の場合も伝えていただくようお願いいたします。陽性になった場合には詳しい状況を学校からお尋ねしますのでご協力をお願いします。

## フルロナも心配されています

「フルロナ」という言葉を聞いたことはありますか？コロナとインフルエンザの2つのウイルスに、同時・あるいは短期間に連続して感染する状態のことを示す造語だそうです。コロナにかかることで免疫力が低下してインフルエンザにかかりやすいという研究結果もあるようなので、要注意だと言われています。今シーズンはしばらく流行のなかったインフルエンザが流行り始めていて、近隣の学校ではインフルエンザの患者もすでに出ているようです。

病院ではコロナとインフルエンザの両方を検査できるキットも使われ始めていますが、現在発熱外来はひっ迫していて受診するのも大変なようです。抗原検査キット（医療用の抗原検査キットもドラッグストアや通販で購入できるようになりました）をいざという時のためにご家庭で用意しておくと思えます。

今年の冬休みは長く、またコロナの感染が拡大してから初めて行動制限のない冬休みになります、一人一人が十分に注意をして過ごすようにしてください。特に2年生は冬休み明けすぐからスキー移動教室です。生活リズムが乱れるとコロナにもインフルエンザにも罹りやすくなります。

新学期には感染も落ち着き、みんなが元気に登校できるよう心から祈っています。